

育ちをつなぐ～市町村と幼保小との協働による円滑な接続の推進～

乳幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続のためには、市町村教育委員会及び就学前施設担当課と園・小学校で「架け橋期に期待する子ども像」を共有し、子どもに関わる大人が立場の違いを超え、架け橋プログラムを実施するなど、協働して「子どもの育ちをつなぐ」ことが求められています。育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、子どもの育ちを切れ目なくつなぎ、生かすことが大切です。そのため、組織的な連携の下、互惠性のある交流活動、相互参観や協議を通じ、子どもの育ちや学びについて理解を図ることを計画的に実施していくことが必要です。

幼保小連携の更なる充実に向けて【園と小学校の協働的な取組】

I 幼保小の協働による連携のポイント

組織的・計画的・継続的な実践とするために

- ☐ 計画、実践、評価等に生かすための園と小学校で語り合う機会の確保（年間計画への位置付け）
- ☐ 幼保小連携を組織的・継続的に進めるための組織体制の確認と見直し（組織体制、分掌の明確化）
- ☐ 幼保小連携年間計画の内容の充実に向けた見直し・検討（子どもの視点での振り返り等）
- ☐ 保育・授業参観における視点の共有（「架け橋期に期待する子ども像」に迫る共通の視点等）
- ☐ 各種計画の見直し・改善（架け橋期のカリキュラム、スタートカリキュラム、指導計画等）

II 幼保小連携の一年間の取組内容例

月	連携の内容	内容の充実を図るポイント
4 ・ 5	○幼保小連携計画の作成 ・連携組織及び内容の確認 ・「架け橋期に期待する子ども像」及びカリキュラムの内容等の共通理解 ・園と小学校で育てたい資質・能力についての協議 ・保育・授業参観の視点の確認 ○スタートカリキュラムの実践における子どもの姿を踏まえた協議 ・子どもの姿からスタートカリキュラムを改善するための協議	・園長・校長のリーダーシップの下、互いの職員が協働して子どもの育ちを支えていこうとする意識の醸成（全職員による各種計画やカリキュラムの共通理解） ・「架け橋期に期待する子ども像」の明確化 ・相互参観の日程確認や調整、協議への参加者の決定など、見通しをもった幼保小連携年間計画の作成 ・スタートカリキュラム実践期間における子どもの姿から「子どもの育ちをつなぐ」視点での協議
6 ・ 12	○保育・授業参観、研究協議会への参加 ○園と小学校の合同研修会への参加 ○園や小学校での交流活動の実施	・視点を明確にした保育・授業参観・協議 ・園での経験を生かした生活科を中心とする授業づくり ・園と小学校双方のねらいを明確にした交流活動
1 ・ 3	○一日体験入学 ○子どもの育ちの共有による、スタートカリキュラムの見直し・改善 ○各種計画やカリキュラムの実践についての評価及び改善に向けた協議	・小学校生活への期待感をもたせるための工夫 ・子どもの育ちの共有と、保育者の意見を反映させたスタートカリキュラムの見直し・改善 ・次年度に生かす評価及び改善に向けた内容の検討

III 幼保小の協働による取組の評価

次年度につなげるための評価の視点

- ☐ 園・小学校の全職員で育ちや学びについて共通理解を図り、園と小学校の協働により、「子どもの育ちをつなぐ」取組を進めることができたか
- ☐ 一年間を通した「子どもの育ちをつなぐ」取組により、子どもの理解を深めることができたか
- ☐ 子どもの視点に立った連携計画や実践ができたか
- ☐ 園・小学校双方に互惠性のある取組ができたか
- ☐ 園・小学校の実態に応じた取組を工夫し、必要感のある取組となっていたか



IV 幼保小連携の取組についての参考資料・動画等

・遊びを通した学び

- ◇〈動画〉遊びは学び 学びは遊び “やってみてが学びの芽”
～「やってみて」から始まる学びの芽
（知識・技能や思考力等の基礎、学びに向かう力）の育成～
- ◇幼児教育と小学校教育がつながるってどうのこと？
（幼児教育及び小学校教育関係者向けの参考資料）



（文部科学省のWebページ）

・秋田県版 架け橋期のカリキュラム開発に関するガイドライン（初版）及び市町村版架け橋期のカリキュラム（例）について（幼保推進課「わか杉っ子元気に！ネット」のWebページ）



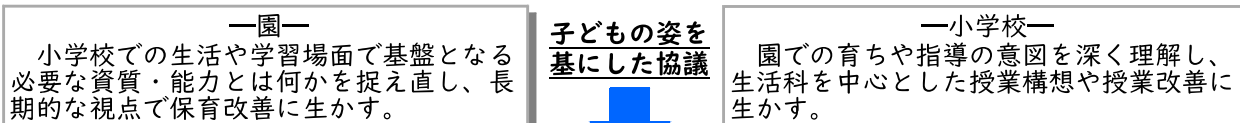
・リーフレット「新1年生の保護者のみなさまへ」
もうすぐ1年生
～育ちと学びを未来につなぐ～



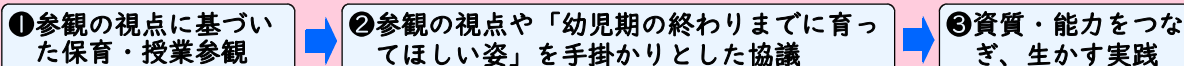
（幼保推進課「わか杉っ子元気に！ネット」のWebページ）

資質・能力をつなぎ、生かす取組の実例

子どもの育ちや指導の意図を深く理解するためには、共通の視点で保育・授業参観や協議を行うことが大切になります。参観・協議を重ねることで、園で育まれた資質・能力を小学校へつなぎ、生かすサイクルが構築され、互いの教育・保育の更なる充実が図られます。



資質・能力をつなぎ、生かすサイクルが構築され、互いの教育・保育の充実が図られる



- ① 参観の視点に基づいた保育参観 ～遊びから見取った子どもの姿～**
 （下線は「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と関連するところ）

数人の子どもたちが砂場で穴を掘ったり砂山を作ったりして遊んでいる。掘り進めていく中で「ここ掘って大きくするね!」「ぼくは高い山つくるね!」と、自然と役割が決まり、友達と関わり合いながら、工夫して遊びを進めている。途中で「山から水を流して海を作りたい」と、樋を持ってきて水を流し始めた子どもがいた。数本の樋をつなげているためうまく水が流れないところがある。子ども同士で対話しながら、上手に流す方法を探る姿が見られた。協力して活動したことで穴にどんどん水が溜まっていった。砂場に大きな海ができたことをみんなで喜び合っていた。（子どもの遊びの一例）



- ② 参観の視点や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとした協議**
 （今の育ちや、小学校での生活や学習の具体的な場面へのつなげるのかを協議する）

今の子どもの姿を踏まえ、育ちの連続性を長期的な視点で捉えた協議

【協議の目的】

子どもの姿を基に、今後どのような経験が必要か理解したり、援助を工夫したりしていくのか検討し、育ちをつなぐ保育実践に生かす。

◇「自立心」と関連した子どもの姿

主体的に遊びに関わり、最後までやり遂げる姿が見られた。自ら挑戦していくことで達成感を得られるような環境構成を工夫する。

◇「協同性」と関連した子どもの姿

自分の思いを伝えたり相手の思いを受け入れたりする姿が見られた。思いを伝え合う心地よさを味わうための援助の在り方を探る。

◇「思考力の芽生え」と関連した子どもの姿

物の性質や仕組みを感じ取っていた。友達の様々な考えに触れながら、新たな方法を見いだせるような援助を工夫する。

小学校生活や学習の具体的な場面へのつながり等についての協議

【協議の目的】

小学校生活や学習の具体的な場面を想起しながら、育ちのつながりを理解し指導に生かす。

◇「自立心」が小学校生活等で現れる姿

自分なりに考えて意見を言ったり、分からないことや難しいことは、教師や友達に聞いたりするなどの粘り強く取り組む姿が見られるように支援する。

◇「協同性」が小学校生活等で現れる姿

集団生活の中で、目的に向かって自分の力を発揮しながら友達と協力する姿につながるように支援する。

◇「思考力の芽生え」が小学校生活等で現れる姿

主体的に学習に関わり、探究心をもって課題解決をしていこうとする姿につながるような支援の在り方を探る。

- ③ ②の協議から資質・能力をつなぎ、生かす実践**
 （園と小学校で日々の保育や授業で意識したいこと等を協議し、実践の見通しをもつ）

- 自己を発揮しながら、自ら学びに向かうことができるようにするために、一人一人の子どもの考えを引き出すような問い掛けをしたり、子どもの実態に応じたコーディネートを工夫したりする。
- 友達同士で考えを出し合う過程を丁寧に見取るとともに、考えを出し合うことのよさを実感できるように価値付け、互いのよさを認め合いながら活動できる場を設定する。
- 子ども自身が「こうしたい」という願いをもち、自ら選択したり、試したりすることができるように、ものや人、時間等の環境を整えるとともに、考えの共通点や相違点に気づき、多面的に考えていくことができるように助言する。



幼保小関連事業

月 日	事業名	対象	会場
7月30日(水)	就学前・小学校等南地区合同研修会	美郷町、湯沢市、羽後町の就学前施設教職員・小学校教員・教育委員会及び就学前施設担当課担当職員等	美郷町中央ふれあい館